

IEEE 2019 SSCI (Symposium Series of Computational Intelligence) 参加報告

広域システム科学系 池上研究室 M2 梶原侑馬¹

2019年12月6-9日

私は広域科学専攻による国際研究集会出席者資金助成を受け、中国の廈門で行われた IEEE 2019 SSCI という国際学会に参加し、ポスター発表を行いました。

IEEE 2019 SSCI は、知能システムにまつわる研究を幅広く集めた学会であり、機械学習や制御理論から生体計測といった、複数のミニシンポジウムの集合として構成されています。私は主に、人工生命 (Artificial Life) のミニシンポジウム (IEEE ALIFE) に参加していました。このシンポジウムの中では、北海道大学の山嵯さんらによる「深層学習を用いた敵対的模倣学習による、小鳥のさえずりの進化シミュレーション」や、Tubingen 大学の Khajehabdollahi さんらによる「相関構造を用いた自動生成画像の美的定量評価」に関する研究発表が、独創的で刺激を受けました。それ以外にも、普段自分がサーベイしないようなテーマに関する研究が数多くあり、自分の知見を広げる良い機会でした。

私は、"Model-based Empowerment Computation for Dynamical Agents" という題で論文を提出し、ポスター発表を行いました。これは、Empowerment と呼ばれる情報理論をもとにした指標を、深層学習を用いて計算し、多関節ロボットがこの Empowerment を報酬関数として強化学習を行なったとき、自律的に起き上がった状態を維持することができることを実験的に調べたものです。ポスター発表中に、熱心に話を聞いてくださり、面白い議論をすることができた参加者の方々のおかげで、とても実りある時間となりました。

最後に、このような機会を与えて下さった広域科学専攻による渡航助成制度に、この場をお借りして、感謝申し上げます。

¹ kajihara@sacral.c.u-tokyo.ac.jp



学会会場の案内看板